第３章　まちづくりの基本理念と将来都市像

1. まちづくりの課題

本町の都市計画及びまちづくりにおける課題について、分野別の現況やアンケート調査及び現行計画の評価結果等により整理を行いました。

① 人口

・県道沿いに人口が集まっており、ゆるやかに人口減少と、少子高齢化が進んでいる。
・価値観やライフスタイルの多様化により、地域コミュニティの維持が困難になってきている。
・第1次、2次産業の就業人口が減少しており、農業や窯業の担い手不足や、高齢化が見られる。就業者の確保や観光資源等の有効活用による産業活性化が求められる。
・人口減少により、税収の低下や空家の増加が予想される。

② 土地利用・市街地整備

・県内有数の水田が広がっているが、中山間地などでは耕作放棄地が増加しており、本町全体の耕地面積、米・麦の収穫量が減少している。
・幹線道路周辺の農地が住宅地へと変化し、市街地の拡散と低密度化が進んでいる。
・空家や空き地の活用や適切な管理が求められている（アンケート）。
・徒歩などで移動できる一定の範囲で、店舗、病院、公共施設等の集約や維持を図ることが求められている（アンケート）。

③ 道路・交通

・高速インターチェンジが本町北部にあり、自動車の広域交通ネットワークはあるが、鉄道駅やバスターミナルはなく、公共交通ネットワークの利便性が低い。公共交通の維持や利便性の向上が求められている（アンケート）。
・狭あい道路の拡幅や通学路の歩道整備が求められている（アンケート）。
・防犯灯や街灯の充実が求められている（アンケート）。
・災害時に安全に避難できる道路や緊急物資を輸送できる主要な道路の整備が求められている（アンケート）。
・県道沿いに新たな飲食店等が立地し、観光客や住民が訪れているが、自道車によるアクセスが中心である。

④ 公園・下水道・河川・公共施設

・インフラ施設の老朽化の進行及び維持管理費用の増大を踏まえ、中長期的な視点から計画的な維持管理が求められる（公共施設等総合管理計画）。

⑤ 景観

・太陽光発電施設の整備や住宅開発などにより、山林や農地等の自然環境が減少。

・波佐見町特有の景観（窯元の煙突や生地の乾燥風景、田園風景等）の形成や保全すべきものについて整理が必要（現行計画の評価）。

⑥ 防災

・盆地の周りを山々に囲まれており、集中豪雨や台風等により、急傾斜地などで度々災害が起きている。
・土砂災害警戒区域・特別警戒区域は、町内全域に分布している。
・浸水想定区域（想定最大規模）は川棚川とその支川に広がっており、家屋倒壊等氾濫想定区域が川棚川に沿って広がっている。
・建物の不燃化、密集地の安全性の向上について、検討が求められる（現行計画の評価）。

2. まちづくりの基本理念

本町が目指すまちづくりの基本理念は、上位計画である総合計画、都市計画区域マスタープランを踏まえ、以下の通りとします。

第 6 次波佐見町総合計画（令和 5 年 3 月）

基本構想

将来像

「創る　つなげる　超えていく」
～暮らしと絆を大切にするまち～

波佐見都市計画区域マスタープラン（平成 27 年 12 月 15 日）

都市づくりの基本理念

- 「波佐見焼」を活かした活力あふれる都市づくり
- 都市的な生活利便性が高く、快適に定住できる都市づくり
- 「豊かな緑と水」を守り、田園風景と調和した都市づくり

■まちづくりの基本理念

人口減少や少子高齢化の進行により、集落の活気が徐々に失われつつあるなか、「波佐見焼」や良好な景観、豊かな農地や自然環境などの本町の資源を活かして、地域や自治会の活性化を図り、誰もが安全で安心なゆとりある暮らしを送れる、絆を大切にしたまちづくりを進めます。

まちづくりの目標①

- 安全で安心な暮らしを大切にするまちづくりをめざす

まちづくりの目標②

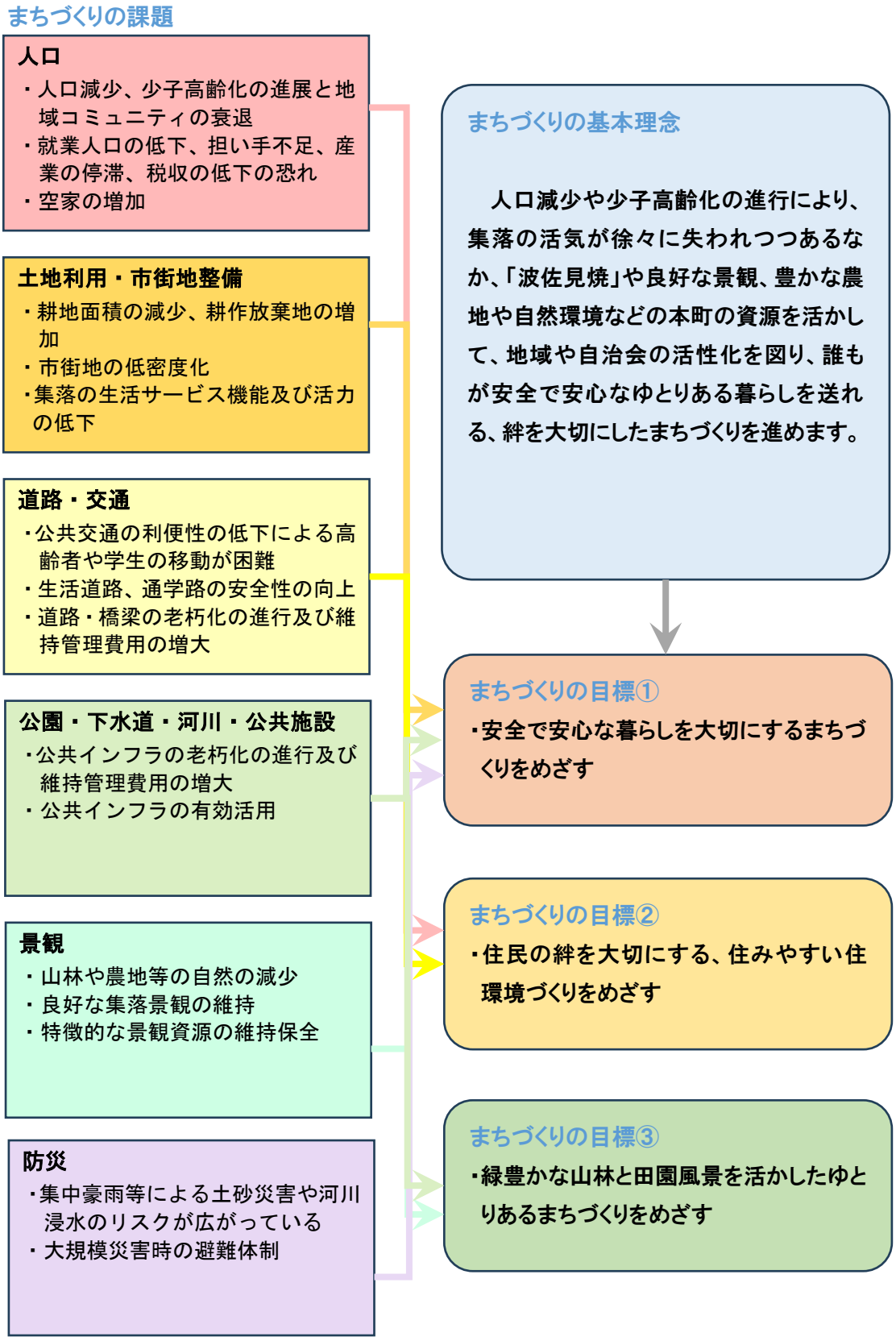
- 住民の絆を大切にする、住みやすい住環境づくりをめざす

まちづくりの目標③

- 緑豊かな山林と田園風景を活かしたゆとりあるまちづくりをめざす

3. 将来都市像

本町の「まちづくりの課題」、「まちづくりの基本理念」及び「まちづくりの目標」を踏まえ、将来都市像は、町民及び「波佐見焼」や本町の魅力を活かした住みやすい「陶農（とうのう）の里」を目指します。



■将来都市像

人と暮らしのデザインがつながる　陶農（とうのう）の里　波佐見

人口

多世代が元気に暮らし、地域の絆を維持した、コンパクトな陶農のまちづくり

陶農の歴史が育んだ「暮らしのデザイン」を将来に紡ぎながら、変化を許容し発展するまちづくり

土地利用・市街地整備

利便性が高く活気と拠点性のある中心市街地の形成と、ゆとりある良好な住宅地形成に向けた、秩序ある土地利用の誘導

窯業・農業・観光等の多様な産業が連携した元気なまちづくり

道路・交通

安全性と利便性を兼ね備えた道路整備と、交通弱者に配慮した地域公共交通のネットワークづくり

公園・下水道・河川・公共施設

農地や山林の緑の保全と、利用しやすい公園や河川、公共施設を維持したまちづくり

景観

自然や歴史ある文化財等の資源を活かした、波佐見らしい良好な景観づくり

防災

大規模災害時に安全に避難できる体制や拠点が整った災害に強いまちづくり

■将来都市構造図

6 つの特色ある拠点と、役場周辺を中心に「拠点市街地」、その周辺に広がる「住宅市街地」を、交通軸によるネットワークを基本とした都市構造により、利便性の高い持続可能な都市構造を目指します。

【拠点】

中心拠点：役場や総合文化会館、体育センター等の公共施設やスーパー等の商業施設が集まり、生活サービスを提供する中心的な拠点とし、利便性の向上や維持を図る

工業拠点：精密機器・機械製造の大規模工場と波佐見町営工業団地を、波佐見有田インターチェンジに近接した交通利便性を活かした工業振興を図る拠点とし、周辺の環境と調和しながら維持を図る

観光拠点：都市計画公園であるやきもの公園と陶芸の館観光交流センター、西ノ原地区の文化財を活用した商業施設を、波佐見焼や本町の魅力を発信する観光拠点として、利便性の向上や維持を図る

景観拠点：国の重要文化的景観に選定された中尾郷と鬼木郷の窯業集落と農業集落、棚田の景観を活用・保全するための景観拠点として、整備と維持を図る

地域交流拠点：下波佐見村の役場があった南地区や波佐見温泉、観光施設等と都市計画公園を、にぎわいや交流を形成する拠点として、整備と維持を図る

地域生活拠点：都市計画区域外の生活拠点及び、重要文化的景観のガイダンス拠点として、整備と維持を図る

【市街地】

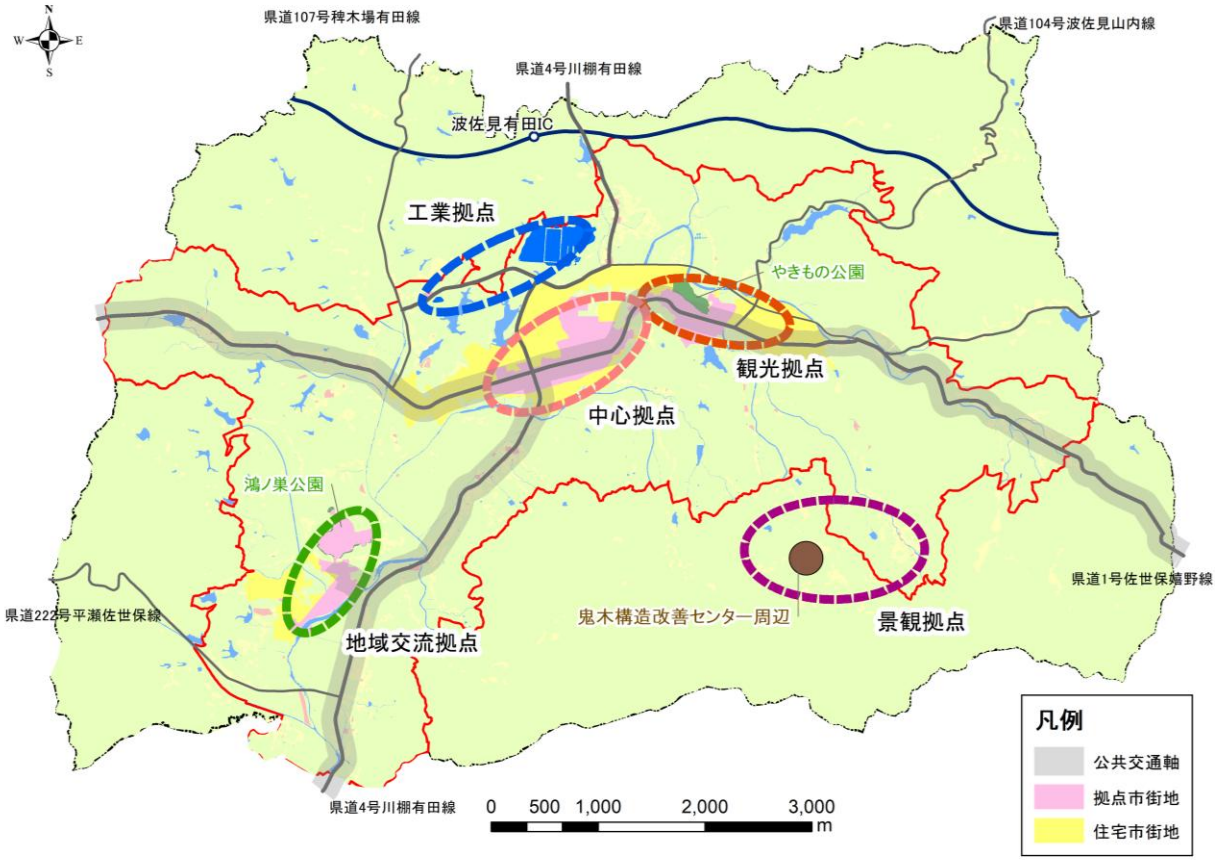
拠点市街地：本町の中心的な商業や行政サービス、業務、観光の拠点として、にぎわいと活気のある市街地を形成する

住宅市街地：拠点市街地の周辺に安全で便利な生活を送る居住地として住宅市街地を形成し、居住を促進する

【軸】

公共交通軸：路線バスやかわたな・はさみタウンバスなどの公共交通機関によって、町内の主要な拠点や周辺自治体をつなぎ、公共交通ネットワークを形成する

交通軸：本町の主要幹線道路として、道路・交通サービスの骨格を形成する



■将来都市構造図

区分	凡例	位置づけ
中心拠点		役場周辺の生活サービス施設が集積する地区
工業拠点		波佐見テクノパーク、波佐見町営工業団地
観光拠点		西ノ原地区、やきもの公園
景観拠点		波佐見中尾皿山と鬼木棚田の重要文化的景観区域
地域交流拠点		南地区、鴻ノ巣公園
地域生活拠点		鬼木構造改善センター周辺
拠点市街地		役場周辺等の中心的な商業・業務・観光地
住宅市街地		拠点市街地を取り囲む、一定の人口密度を維持する住宅地
公共交通軸		町内の主要な拠点や周辺自治体をつなぐ公共交通ネットワーク
交通軸		主要幹線道路